

議会だより

白山市

2019.2

vol. 55

CONTENTS

議会
報告会

②… いまどき高校生が思う15のこと (翠星高校編)

- ④… 議会報告会（笠間地区振興協議会、加賀野地区振興協議会）
- ⑥… 12月会議の概要
- ⑦… 一般質問
- ⑪… 意見交換会
- ⑫… 議会に対するアンケート結果



「バレンタイン」

作者／金城大学短期大学部美術学科 石原 真佑 さん

いまだ高校生が思う15のこと いね!白山市、がんばれ!白山市

翠星高校編
11月19日(月)

好評につき今年も
市内3校の高校生と
議会報告会を開催しました!



いね!白山市

豊かな自然に
恵まれている

おもしろい1

白山一里野温泉スキー場でスキーやスノーボードを楽しめる。

おもしろい2

白山登山ができる。

住みやすい環境である

おもしろい3

松任駅前がきれい。

おもしろい4

医療費が無料で病院に行きやすく、待ち時間も少ない。

おもしろい5

公園や家の前の草むしり等にみんなが参加している。

おもしろい6

地域の方や知らない人同士でも挨拶し合っていて明るく感じる。人と人の関係がよい。

がんばれ!白山市



おもしろい7

国道8号の地下道を自転車にのったまま通過する人がいるのでぶつかることのない構造にしてほしい。

委員会での協議7

地下道を広げたり、階段にすることは白山市では対応できない。高校生だけが使うとは限らないので、交通事故のあらましや広報はくさんで自転車の乗り方注意事項として、新たに掲載し呼び掛けたい。



議会で
CHECK!

おもしろ8

イヤホンをつけたまま自転車に乗る人がいるので危ない。

委員会での協議8

道路交通法では安全運転に必要な音や声がかえらない状態での運転は禁止されている。自転車は軽車両で自動車と同様交通ルールを守らなければならない。交通事故のあらましや広報はくさんで自転車利用時のマナーアップを呼び掛けたい。

おもしろ9

通学にちょうどよい時間のバスがない。バスの本数をふやしてほしい。

委員会での協議9

翠星高校の登下校に利用できるバスは路線バスとコミュニティバスがある。高校生の利用は恒常的な利用が少ない状態であることと、バス業界全体で運転手不足が深刻で増便は難しい。

おもしろ10

生徒会のなかで意見を持ち寄って白山市にお願いに行くこともできたらよい。

委員会での協議10

高校生の柔軟で自由な発想の意見はよりよいまちづくりを進めるために必要。考えていること気づいたことを寄せていただきぜひ市政に参加してほしい。

おもしろ11

松任総合運動公園のトレーニング機器は良いものがあるが、台数が少なく休日は込み合う。

委員会での協議11

近隣の市町と比べると低料金のため平日の利用が多い。現在のトレーニングルームのスペースでは機器を増やせない。休日は白山市の他の施設利用が図れないか考えていきたい。



おもしろ12

大雪の際に歩道の除雪がされておらず車道しか通れなかった。

委員会での協議12

歩道除雪路線は小中学校や公共施設周辺を除雪対象としている。全路線を通勤、通学の時間帯に除雪することは困難なため、除雪には地域の皆様の協力が必要。除雪機械購入枠を拡大して協働のまちづくりで市民の協力を得る体制づくりに心掛けたい。

おもしろ13

国道8号の地下道から松任駅までの街灯が暗い。

委員会での協議13

町内会が管理する街灯が設置されているが、暗く感じることもある。現場確認を行い、交差点や通学照明の修繕を随時行う。



おもしろ14

地元野菜を使用した商品の開発を行い、農業をしている人たちの6次産業化に関わりたい。

委員会での協議14

地元農産品を使った6次産業化や新商品の開発に取り組む事業者が増えてきている。学生ならではの視点と柔軟な発想をもって、新商品開発に取り組んでいただきたい。

おもしろ15

翠星高校の米がGAP認証を受けた。東京オリンピックで翠星高校の米を使ってほしい。

委員会での協議15

国際基準のGAP認証は、経験豊富な農業生産者でも簡単に取得できない。東京オリンピックの食材調達方法は納入方法が不明であるが、納入を考えているのなら方法を検討したい。

高校生の皆さんに協力ありがとうございました

皆さんのご意見を市政に ～議会報告会～

笠間地区振興協議会

10月18日（木）

市民意見

白山総合車両所を核としたビジターセンターの建設と加賀笠間駅のバリアフリー化を含むリニューアルは。

議会回答

白山総合車両所・金沢総合車両所のビジターセンターの建設、加賀笠間駅のリニューアル、(仮称)西松任駅の新設の4点を自民党与党のプロジェクトチームで協議している。

委員会での協議

ビジターセンターは地方創生交付金を活用して基本計画、基本設計をしている。

市民意見

太平洋側の企業の代替地として企業誘致を。

議会回答

マスタープランを見直すので、地区を回り相談して企業誘致に適した場所を調査中である。

委員会での協議

改定中の都市計画マスタープランにて各地域から要望をまとめ検討する。

市民意見

簡易水道で繰り出し基準の見直しをするのか。水道単価を上げないようにしてほしいが、その見直しは。

議会回答

料金体系は今のところ高くなるとは聞いていない。

委員会での協議

営業活動の収支は黒字で推移している。これまで同様の取り扱い。



市民意見

まちづくり塾が開催され、地区の発展やいろいろと予算化されて塾生が責任をもたねばならないが、議会と執行部のフォローは。

議会回答

塾生に登録されると平成32年3月までの1年半近くの任期である。試行錯誤でスタートした段階で注視している。

委員会での協議

財政支援としての地域予算制度、一括交付金のあり方、地区につながる制度設計を市民協働で責任を持って検討する。

市民意見

*SDGs (エスディーゼーズ) は2030年までの目標の中で白山ろくなどで人口減少があると思う。30年先を見据えた未来都市づくりを考えては。

議会回答

将来ビジョンを打ち立て、地に足のついた計画を立てていくことを求めている。

委員会での協議

ジオパーク等の理念に基づき山間部において経済発展や豊かな生活を実現し、まち・ひと・しごと創生総合戦略において各種人口減少対策に資する施策を複合的に推進する。

※ SDGs とは、地球環境や気象変動に配慮しつつ、持続可能な暮らしや社会の実現に向け、国際社会全体が目指す 17 の開発目標のこと。

加賀野地区振興協議会

10月19日（金）

市民意見

道の駅「めぐみ白山」はうまくいっているのか。ドッグラン、遊具などファミリーがくつろげる設備も必要ではないか。

議会回答

いい施設なので多くの人に利用していただきたい。そのために多くの人の意見を反映させよりよいものにしたい。

委員会での協議

11月には来場者が30万人を超え26万人が買い物されレストランを利用している。今後ドッグラン、遊具の設置の件も検討する。イベント開催や広報活動も支援する。

市民意見

地下水の保全を真剣に考える意味で議会としても条例を制定しては。

議会回答

地下水は恵まれた資源であり限られた資源でもある。白山市独自の条例の制定に向けて議会としても取り組んでいきたい。

委員会での協議

地下水保全の観点から地下水採取の分散化、井戸水位を常時監視し、使用水量が多い場合は工業用水道の利用を企業に理解をいただく。



市民意見

はくさんタニタ健康倶楽部ポイント制度について、いろいろな角度で健康づくりとか予防を工夫しては。

議会回答

市もタニタに限らずいろんな施策、事業を展開している。議会としてもタニタに依存しないよう監視していく。

委員会での協議

タニタ健康倶楽部ポイント制度以外にも市民のを対象に健康講座、運動教室などの参加や健康診断を受診した時にポイントを付与する制度を検討したい。

市民意見

黒瀬町に野球場の敷地が確保されているが、今後はどうなるのか。

議会回答

相木野球場の代替地としての位置付けで、議会も承認した経緯がある。前提条件が整えば建設することになる。

委員会での協議

来年度の(仮称)松任駅北相木地区第二土地区画整理組合設立に向けて鋭意努力している。

市民意見

国が農地を保全する方向なので、地域の発展のためにも、しっかりとした農地保全を。

議会回答

農地の保全は都市計画に関係し、圃場整備した農地は農業振興区域であり農地の開発や転用ができない。

委員会での協議

農地保全については、農業委員会、都市計画課、建築住宅課など関係する部署とも連携を図り、適正な優良農地の確保に努める。

9億3千万円の補正予算を審議

主なやりとり



議員

歩車道の境界の線が消えている箇所がた
くさんある。歩行者は非常に危険だ。

中期計画の中で生活道路のリフレッシュ
事業という新しい制度で舗装も合わせて
補修する予定。早めに対応するよう進め
ていきたい。



市



議員

歩行者保護モデル路線安全施設設置事業
について、土木課だけでなく地域安全課
も把握できるよう協議すべきでは。

協議が不足していた。次回からはしっか
りと調整をした上で、整備していき
たい。



市

国の関係機関へ提出



意見書

地方ローカル線の維持・存続に関する意見書

(提案者・藤田政樹)

教職員の時間外労働の法による上限規制と教育予算拡充を求める意見書

(提案者・山口俊哉)

教育の無償化・負担軽減に関する意見書

(提案者・寺越和洋)

私は 賛成・反対しました

○=賛成 ×=反対	氏名	池元勝	中野進	大屋潤一	田代敬子	山口俊哉	安美隆直	吉本史宏	南清人	石地宜一	小川義昭	安田竹司	北嶋章光	村本一則	宮岸美苗	岡本克行	寺越和洋	吉田郁夫	清水芳文	藤田政樹	西川寿夫	
◎会派名 一創=一創会 白政=白政会 創誠=創誠会	会派名	一創	一創	白政			白政	白政	白政	一創	白政	創誠	創誠	白政		創誠	創誠				一創	一創
平成30年度白山市一般会計補正予算案		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
特別会計補正予算4議案・事業会計補正予算3議案		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
白山市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
白山市本社機能立地促進のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○

※この他にも16件の議案がありました。 ※議長(永井徹史)は採決に加わりません

一 般 質 問

議員が市の一般事業に対して、執行の状況または将来の方針、政策的な提言などを行います。一問一答形式による質問時間は、1議員30分以内です。

12月会議の一般質問は、12月12日(水)、13日(木)の2日間にわたり行われました。

12日の質問議員

田代 敬子 (たしろ けいこ)	議員	…………	7ページ
小川 義昭 (おがわ よしあき)	議員	…………	7ページ
山口 俊哉 (やまぐち としや)	議員	…………	8ページ
中野 進 (なかの すずむ)	議員	…………	8ページ
宮岸 美苗 (みやぎし みなえ)	議員	…………	8ページ
清水 芳文 (しみず よしふみ)	議員	…………	8ページ
南 清人 (みなみ きよと)	議員	…………	9ページ

一般質問コーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

市ホームページで議会録画映像の配信や、「会議録の検索」により一般質問など本会議の詳しい内容も、ご覧になることができます。

13日の質問議員

石地 宜一 (いしじ よしかず)	議員	…………	9ページ
寺越 和洋 (てらこし かずひろ)	議員	…………	9ページ
藤田 政樹 (ふじた まさき)	議員	…………	9ページ
村本 一則 (むらもと かつのり)	議員	…………	10ページ
池元 勝 (いけもと まさる)	議員	…………	10ページ
大屋 潤一 (おおや じゅんいち)	議員	…………	10ページ



市議会HP QRコード



<http://www.city.hakusan.ishikawa.jp/>



田代敬子 議員

Q (仮称) 市民カウンセラー養成講座を開講しては

A 来年度開講できないか、調整をしていきたい

質問 ボランティアへの関心を高めてもらうため、官学連携した(仮称)市民カウンセラー養成講座を開講しては。

答え 本市は専門性の高いボランティア養成講座を2つ開講しているが、一般市民の受講参加には広がりにくい状況にある。提案の講座は聞くことに焦点を当てた身近な相談相手を養成することが目的であり、誰もが気軽に受講できると思われる。障害者や高齢者を身近で支えるためにも来年度早々に開講できないか調整をしていきたい。

他の質問 ひきこもりに特化したワンストップ窓口、中学校での「バースフォト展」など



小川義昭 議員

Q 子供の「インフルエンザ予防接種費用の助成」拡充を

A 来年度予算に拡充の方向で検討したい

質問 安心して我が子を産み育てたい若い夫婦が暮らせるために、乳幼児をはじめ義務教育期間の子供たちを対象とした「インフルエンザ予防接種費用の助成」のより一層の拡充を。

答え 予防接種は疾病の予防などを目的としており、市民の健康保持の増進、しいては医療費の低減にもつながることから有用である。提案の助成額の拡充については、新年度予算で拡充の方向で検討したい。

他の質問 市民協働で創るまちづくり塾、地域担当職員制度の創設、職員の人事評価制度



山口俊哉 議員

Q 生ごみ処理機の補助の再開を

A 補助制度再開に向けて検討したい

質問 生ごみ処理機の補助を2010年に中止している。循環社会の形成とごみの省力化のために補助の再開を。

答え 生ごみ処理機は家庭から排出される生ごみを微生物の働きで分解し、堆肥化させ、ごみの減量化、資源化に役立つ。ごみの無料収集を続けるためにもごみの減量化、資源化は不可欠である。野々市市や川北町の協力をいただきながら、補助制度再開に向けて検討したい。

他の質問 SDGs、パートナーシップ認証制度、英語の教科化、障害のある子の就学など



中野 進 議員

Q SDGs における連携協定での具体的な施策は

A ベンチャー企業との協働とICTを活用する

質問 SDGsにおける本市と金沢工業大学、(株)NTTドコモとの連携協定での具体的な施策は。

答え 社会課題の発見や解決策を見出す人材を育成し、ベンチャー企業との協働により、若い世代を対象とした関係人口の創出に取り組む。本市に潤いを与えている水に着目し、モニタリングを中心とするデータ環境の整備を図り、ICTを活用して白山ろく地域の維持発展に資する取り組みを行い、その成果をもって市内全域に広げたい。

他の質問 震災時の水道被害、森と自然を活用した保育、白山手取川ジオパークなど



宮岸美苗 議員

Q 要望が多い「めぐーる」の土・日の試験運行実施を

A 事業者からは乗務員不足で対応できないとの回答

質問 「めぐーる」の土・日運行を望む声が多く、再度試験運行の実施を。

答え 平成19年度と23年度に土・日運行の実証実験を行ったが、乗車人数が少なく本格運行を見送ってきた。しかし、市民の要望も多く再度実験できないか事業者と調整したが、乗務員不足の現状では勤務時間が労使協定を超過するため対応できないと回答があった。市としては事業者に対し人員確保を求め、その後状況を見ながら実証実験を検討していきたい。

他の質問 幼児教育保育の無償化、成人風疹予防接種の助成、性の多様化、外国人労働者



清水芳文 議員

Q 郊外型住宅団地で用途地域の指定変更や規制の緩和を

A 地域の方々の総意が必要、県とも協議し検討したい

質問 人口の増加と高度経済成長に伴い、都市郊外に住宅団地が数多く建設された。若い人達であふれた新興団地も今では高齢者世帯が急増している。若い世代と同居できる家建てられるよう、用途地域の指定変更や建ぺい率、容積率など規制の緩和を。

答え 用途地域や建ぺい率、容積率の見直しについては、地域の方々の総意が必要となる。地域の課題や意見などをしっかりと踏まえて、県とも協議し検討したい。

他の質問 災害時に機能できる施設整備、新型救命ボート導入、ふれあい通学合宿など



南 清人 議員

Q 柔道整復師施術に子育て支援給付金の拡充を

A 平成31年4月から実施したい

質問 子育て支援医療給付金制度において、柔道整復師の施術に対しては、窓口での支払いが必要な償還払い方式が適用されている。窓口での支払いを必要とされない、現物給付方式への拡充を。

答え 柔道整復師の施術においても、煩わしさの解消と子育て支援の充実の観点から、窓口での支払いを必要としない現物給付が適切であり、平成31年4月実施の方向で進めたい。

他の質問 災害警戒に関し町内、地域においてより詳細な避難情報を出せ



石地宜一 議員

Q 水道事業についての民営水道統合計画は

A 水道事業ビジョンを策定、15カ年で民営水道統廃合

質問 ①松任地域での民営水道の統合計画は。②水道管の法定耐用年数越えの延長と比率、今後の更新計画は。③地域ごとに水道料金の格差があるが。

答え ①2023年までに民営水道の30カ所を統合し残る40カ所は随時統合する。②11.8%で、今後15カ年で119キロメートルを75億円の費用を見込み更新する。③市内統一料金として供給することが適切である。今後上下水道料金検討委員会を設置して利用者の意見を聞く。

他の質問 山田市政の今後4年間の決意、白山における火山防災、市の雪害対策など



寺越和洋 議員

Q 北陸鉄道における電車車両の更新は

A 任意協議会の枠組みの中で応分の負担を考えている

質問 北陸鉄道における電車車両も、老朽化が進み、更新時期が来ると思う。車両の更新によりスピードアップが図られると、乗降者増の一助になると思うので、車両の更新を、連携中枢都市圏で協議すべきでは。

答え 9月の任意協議会で、北陸鉄道から車両の更新について支援を要請された。市としても、石川線は大切なインフラであるので、任意協議会の枠組みの中で応分の負担を考える。

他の質問 地域情報化計画、海外派遣事業の創設、薬草の事業化、美術協会の統一



藤田政樹 議員

Q 白山ろく地域を訪ねて...どうする山ろく事情

A 市民全体がコミュニケーションを図りながらの協力

質問 合併して13年経過、一体感が見えない情勢と白山ろく地域の疲弊する生活環境について、どう向き合うか。

答え お互いを知り、お互いを理解し、お互いを認め合い、お互いを尊重する中で交流をすることで、一体感が醸成される。一つの施策で白山ろく地域の過疎化は解消できない。地域住民と産学官が一体となってさまざまな施策を複合的かつ持続的に推進していく。

他の質問 ごみの減量化政策、企業立地促進、工業用水の供給



村本一則 議員

Q 山田市長2期目の抱負は

A 市民の幸せを第一に夢と希望を抱ける施策を図る

質問 対話と参加で市政の推進、100歳になっても元気に暮らせるまちづくり、すこやか毎日、あんしん子育て、みんなが主役、かがやく個性、みなぎる活力、これらの政策はどのように具現化していくのか。

答え 健康を核としたまちづくりのため、健康都市宣言を行い、元気に暮らせる白山市を目指す。安全・安心には災害の情報伝達手段として市内統一で戸別受信機の整備を行う。今後も市民と笑顔で語り合えるまちづくりを進めたい。

他の質問 政策の分類、学校現場における教職員の多忙化、統合型校務支援システム



池元 勝 議員

Q 来年度の保育希望者は既存保育園で受け入れ可能か

A 既存保育所の分園を設置して対応したい

質問 来年度の保育希望者は年齢別で何人か。その保育希望者は、既存保育所等で対応できるのか。

答え 来年度の入所申し込みは、ゼロ歳児423人、1歳児697人、2歳児723人、3歳児789人、4歳児791人、5歳児755人で、地域別の定数格差の中で各保育所には国の基準を踏まえ、定数枠を上回る弾力的な受け入れをお願いしている。しかし、ゼロから1歳児については、現状では対応できないことから、既存保育所での分園の設置を視野に検討したい。

他の質問 企業主導型保育事業、SDGsの推進、買い物弱者対策、市職員の職務



大屋潤一 議員

Q 旧鶴来博物館の今後の利活用の見通しは

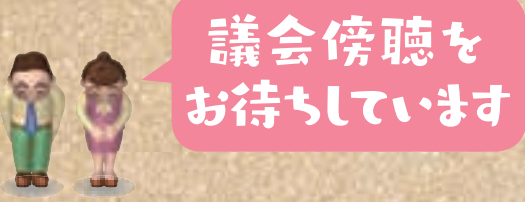
A これまでどおり収蔵庫として利用していきたい

質問 市長は鶴来地区で開催されたまちづくり会議の中で、博物館のあり方について検討したい旨の発言をしたが、今後の旧鶴来博物館の利活用の見通しは。

答え 旧鶴来博物館は老朽化している上に耐震性もなく、これまでどおり収蔵庫として利用していきたいと考えている。市立博物館も展示スペースが充足していない状況でもあることから、市全体の博物館をどうするのかについては今後検討していきたい。

他の質問 市民の一体感の醸成、地籍調査事業

3月会議の予定	
3月 1日 (金) 10:00~	提案説明
3月11日 (月) 10:00~	一般質問
3月12日 (火) 10:00~	一般質問
3月22日 (金) 15:00~	表 決



本会議当日、市役所7階で受け付けていますのでお気軽にお越しください

常任委員会も傍聴ができます。詳しくは議会事務局へお問い合わせください。



意見交換会

白山市防災士会 × 総務企画常任委員会

家具の固定

震災での死亡率で多いのは家具の下敷きになる圧死で、自分の命を守るために最も大事なのが家具の固定です。ほとんどの人はやっていないと思う。

議員 市民に意識を持たせる機会や啓発が非常に大事で、防災士に期待する部分である。



防災士会からの要望

議員 防災士会で必要な資金面などで、具体的なことはあるか。

ユニホームにももう少し余裕が欲しい。自分の町内会のイベントで着られるように、自分の持ち物として支給するための予算を考えていただきたい。のぼり旗や横断幕があればよい。

白山市民生委員児童委員協議会 × 文教福祉常任委員会

子ども食堂やサロンの運営

子ども食堂は、子ども達だけでなく、いろいろな人たちに来ていただきサロン形式でやっていきたいと思う。5年間の補助という話したがその後はどうなるのか。サロンについても、地域をまたぐ場合や、すでに町内にサロンがある場合も補助をいただきたい。

議会 子ども食堂の補助に関しては今のところ5年間だが、その後は予算の話になるので、議会として対応するため要望を上げていただきたい。サロンについては、ふれあいサロンとは別の高齢者のつどい制度もあるので、執行部とも相談していく。

福祉協力員制度

民生委員の受け持ち世帯数や、範囲が大きい地区があり負担が増えている。補完としての福祉協力員制度ではあるが、民生委員は守秘義務があるのでどこまで福祉協力員へ情報を開示してもよいか。さらに、民生委員、福祉協力員の選定は秩序をもってお願いしたい。

議会 民生委員の定員を増やすことは難しい。福祉協力員と民生委員の皆さんを一体として地域の福祉というところ考え方の上で、それぞれの地域に応じた、かなり柔軟な体制を構築していく必要がある。



一般社団法人白山野々市建設業協会 × 産業建設常任委員会

効率的な除雪

有効な除雪機械の稼働のために、国道や県道、市道を縦割りではなく、エリアで区分できるような体制にならないか。



議会 行政の業務量が膨大になるため、エリア区分は無理だと思うが、行政側が市と国・県との連携を密にする必要がある。

除雪作業時の写真撮影

白山ろくでは月1回、平野部では毎回、作業写真の撮影が必要であり、統一感がなく、撮影のために除雪作業を中断しなければならず、効率が悪い。

議会 機械にカメラを設置するなど、改善する必要があるのではないか。

その1

アンケート調査にご協力いただきありがとうございました

調査対象者

- (1) 18歳以上の市民の中から、無作為抽出した3,000人（松任、美川、鶴来、白山ろく地域の4地域から、男女別に人口に比例して選出）
- (2) 町内会長 386人

調査方法

郵送による無記名アンケート調査

調査期間

平成30年10月25日～11月5日

白山市議会では、市民の皆さんにご協力いただき、アンケート調査を実施しました。

いただいたご意見は今後の議会活動に活用させていただきます。



結果がまとまりましたので、3回にわたりご報告します。

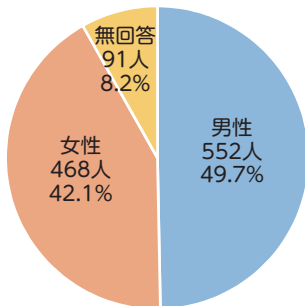
回収状況

	発送数	回収数	回収率
一般市民	3,000人	840人	28.0%
町内会長	386人	271人	70.2%
合計	3,386人	1,111人	32.8%

地域別回収状況



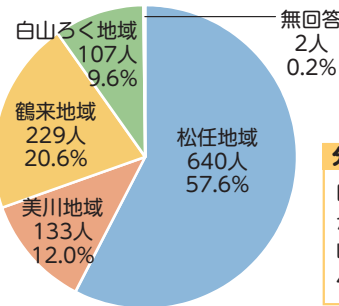
問1 あなたの性別と年齢を教えてください。



分析

性別回答状況では、男性が若干多いが、町内会長がほぼ男性であることを差し引くと、一般の方では女性の回答者が多いことになる。

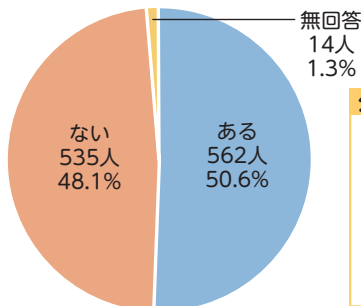
問2 あなたのお住まいを教えてください。



分析

回答者数は松任地域が多いが、回答率は白山ろく地域が最も高く49.8%である。

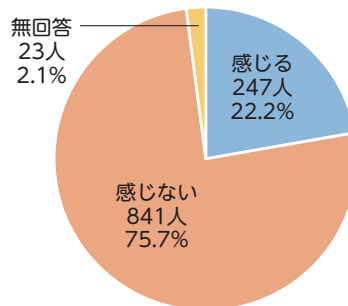
問3 市議会に関心がありますか。



分析

「ある」が50.6%、「ない」が48.1%と若干「ある」が多いが、「ある」のうち町内会長は67.9%で、一般は45.0%という結果である。

問4 市議会議員の仕事に魅力を感じますか。



分析

「感じない」が75.7%と多く、「感じる」は22.2%と少ない。町内会長と一般でも同様な傾向で5ポイントの差しかない。

広報広聴委員会

委員長：山口 俊哉 副委員長：池元 勝
委員：中野 進、大屋 潤一、石地 宜一、村本 一則

針金や糊、熱も使わない製本技術「エコプレスバインディング」を採用しています。

リサイクル適性 (A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



市議会HP
QRコード